

前庭 榊 お手入れ方法

(平成18年11月改訂)

水遣りの方法について

1 葉への散水

前庭は軒下となりますので、葉への水は毎日与えて下さい。
榊の上からシャワーのように散水してください。葉を綺麗にするとともに、葉からも水分を補給します。

手順 1

上から葉に
シャワーの様に
散水を行う

(葉全体に水を与えて
下さい)



手順 2

上から順に下まで
葉水を行い
根部分の幹に水が
滴るまで水を与えて
下さい



*注意事項

1. 水不足時の葉は外側に曲ったり、縮んだりし、一部色が変わってきます。
2. 自ら葉を落とすときは、ダメだと思わず特に水を多く与えて下さい。
 - ・枯れている木は葉が落ちません。
 - ・水を与えないと、水不足で本当に枯れてしまいます。
3. お風呂の残り湯は、与えないで下さい。

2 根への水の仕方

- ・ 榊の根元に直接十分な水を与えて下さい。
 - ・ 水不足の土は色が変わってきます。
 - ・ 15日以上留守する場合(水やりがない場合)は枯れの症状がでます。
 - ・ 水を十分に与えていれば土がしまり、根は動きません。
 - ・ 散水を怠ると土が酸性化し始め、榊が病気になります。
- ・ 水の目安(環境により、多少前後致しますのであくまで目安としてお考え下さい)
11月～2月(霜が降りる時期): 暖かい昼頃に2回／週
上記以外(霜が降りない時期): 夕方に2回／週

プランターの榊の
根元に十分な水を与えて
下さい。



土の乾燥を防ぎましょう



害虫駆除の方法について

害虫駆除の仕方

植物の病気は70～80%はカビ・害虫(カイガラ虫など)によるもので、残りがバクテリア・ウイルスによるものです。

カビ・害虫(カイガラ虫など)によるものは、駆除することで病気を防げます。

1 手摘みによる除去する方法

病気にかかった葉は、手で摘みましょう。



カビ・害虫(カイガラ虫)は濡れた手でこすり落しましょう。特に葉の裏側に付き易いです。(ゴム手袋を御使用下さい)



2 薬品を使用し駆除する方法

虫は葉の裏側に付きますので、市販の消毒剤に展着剤(のり)を混ぜて葉の裏へ散布してください。展着剤を混ぜた消毒剤は桧上部からの散水でも二ヶ月位は流れ落ちにくくなります。

アンプル剤(活力剤)をさすと土壌が酸性化し、桧は枯れます。

(薬品の種類)

- ・消毒剤
スミチオン(住友化学)
MEP乳剤
- ・展着剤
(樹木への消毒剤を付ける
のりです。)
アブローチ BI
(丸和バイオケミカル)



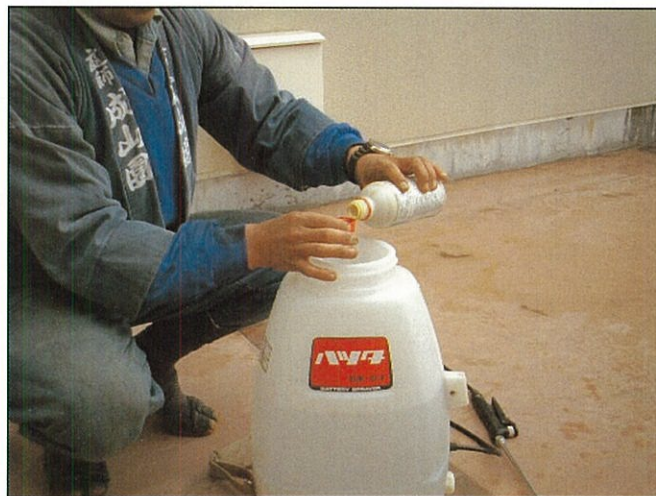
(薬品の調合)

- ・スミチオン
水10ℓに対しキャップ1
- ・アブローチ
水10ℓに対しキャップ1

スミチオンとアブローチを混合致します。

* 注意事項

薬品は子供の手に届かない日が当たらない場所に保管して下さい。



散布の方法

葉の裏側に散布します。
スプレーなどにより、下から
上に散布して下さい。

- ・3～4回／年程度、
散布して下さい。



*スプレーは、使用後はのりが詰まらないようにきれいに洗浄しましょう。

剪定の方法について

- ・剪定は内側を空かすように、枝を切ります。15日位で新しい葉がでます。
- ・主に枝抜きをいたしますが、枝を切るときは幹の元できるようにします。
- ・幅はプランターの大きさ、高さは門柱の高さを超えたら剪定をして下さい。
(剪定をしないと根が大きくなりすぎて、枯れの原因となります。)
- ・剪定時期は、季節を問いません。
- ・剪定の目的は木を一定の大きさに保ち樹形を維持する為と、
木の枝を整理することによって風通し・日照を良くする事です。

手順 1

横に伸びている場合

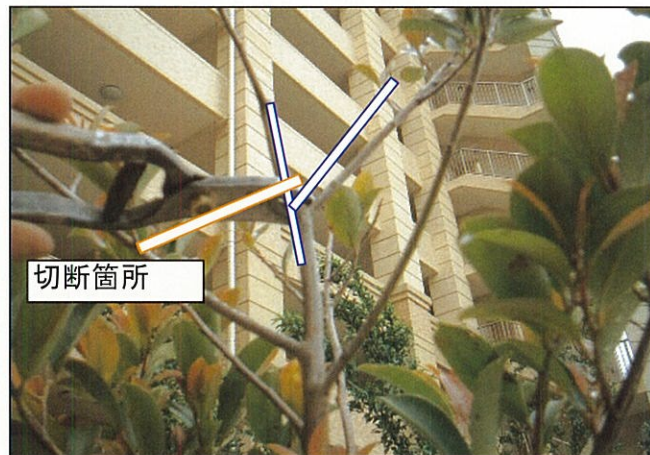
横に伸びて、通路にはみ出る枝は写真の用に枝別れの部分で切断します。



手順 2

縦に伸びている場合

高さが伸びすぎている枝は写真の用に枝別れの部分で切断します。



手順 3

内側に枝が多い場合

内側の枝を整理して風通しを良くしましょう
枝は写真の用に枝別れの部分で切断します。



榊を増やす方法

挿し木の仕方

時期は3月頃

枝先15cm程度を使い斜めにカットします。

挿し穂1/3を半日くらい水につけ、水揚げをよくしてから、斜めに土に挿します

後は、寒暖の差の少ない最低温度10℃を確保できる場所に置いておきます。

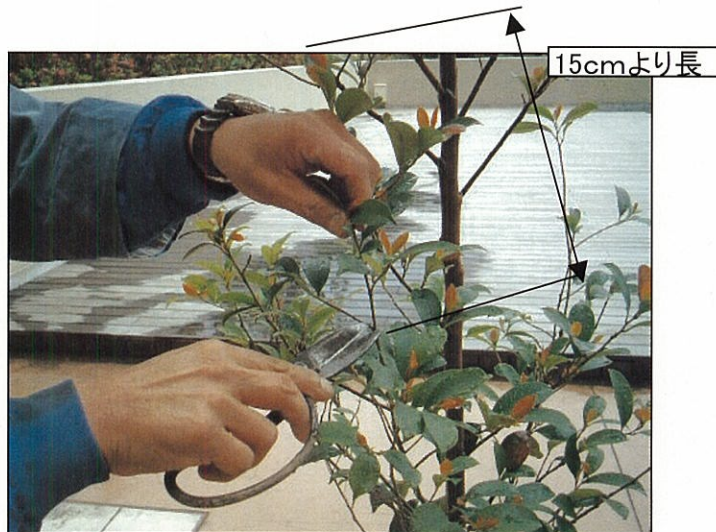
土が常に湿っていること、時々霧吹きで、茎に水を掛けてください。

発根と葉が出れば成功です。

(肥料は、絶対禁物です十分大きくなってあたえましょう。)

手順 1

枝先15cm程度を使い斜めにカットします。



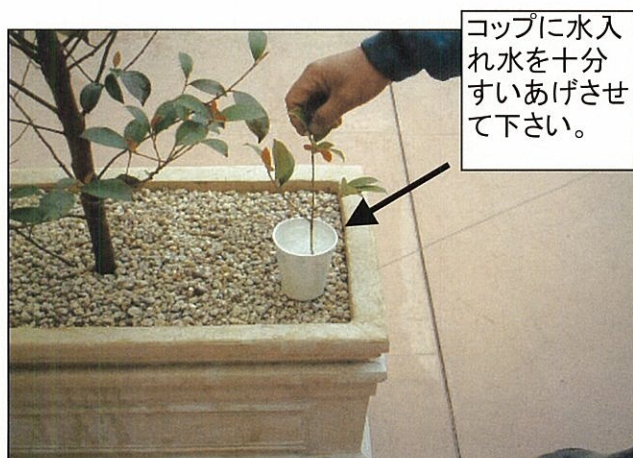
手順 2

挿し穂1/3を数時間水につけ、水揚げをよくしてから、斜めに土に挿します



手順 3

水揚げを良くしましょう
(半日くらい)



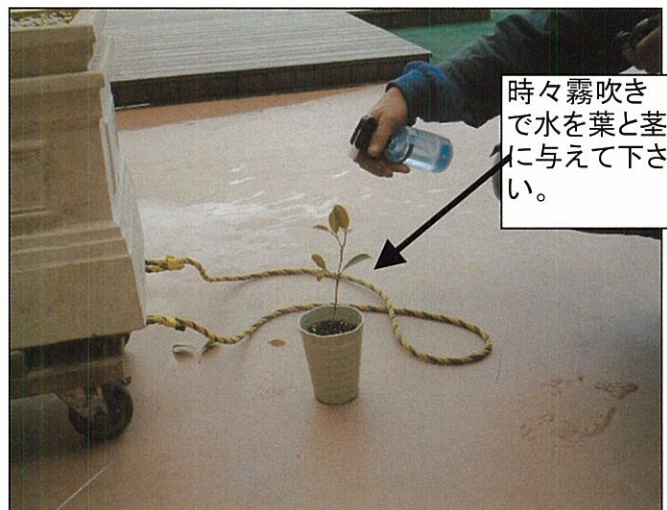
手順 4

土に斜めに挿します。(寒暖差のない所で10℃以上の場所に設置します。)



手順 5

霧吹きを時々行い、初根と葉ができれば成功です。



手順 6

移植時、根の土を落とさない様に植え替えます。



注 意 事 項

- 1 水は十分に与えて下さい、病気・根動き等による枯れを防ぎます。
- 2 植栽に栄養剤、アンプル等をさすと土が酸化し枯れの原因になります。
- 3 過剰な枝落しは、枯れの原因になります。
- 4 害虫・カビ予防のためにも十分水を与えて下さい。
- 5 風により転倒・根動きした場合、添え木をして根を固定しましょう。
- 6 植物は再生の能力が高く一度葉が落ちてもまた生えてきて、傷ついた枝もゆっくりと直っていきます。
- 7 日当たりが悪い場所は、特に水の量を多く与えて下さい。
- 8 住宅の排気が当たる場所は、葉水の量を多く与えて下さい。
- 9 幅はプランターの大きさ、高さは門柱の高さを超えたら剪定をして下さい。

柵の管理は、「前庭 柵 お手入れ方法」に沿って行って下さい。

お客様の管理不足はアフターサービス規準外です。